

九州大学海外派遣留学生 最終報告書

- ※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
- ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)

留学先大学名	ストックホルム大学 (国名:スウェーデン)	
留学先学部名(またはプログラム名)	交換留学	
留学期間	2012 年 8 月 ~ 2013 年 6 月	
学部/学府・年次	文学部	4 年次~ 5 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	④・無 (期間: 1 年)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	①. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	①. 就職 (時期: 4月から / () 年 () 月から) 2. 大学院進学(大学 学府/研究科) 3. その他(具体的に:)	
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	帰国後、就活フォーラムに参加した(マイナビ国際派フォーラム、CFN)	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	はい	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	はい	
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	交換留学生は特定の学部には所属しないため、自分の興味があるコースをある程度制限なく受講できる。ただし、スウェーデン語で開講されている授業の方がやはり多いので、学びたい分野が決まっていれば留学する人はその授業が英語で行われているのかを調べる必要がある。シラバスなどは、大学ホームページ上で公開されている。 日本からメールで選択コースリストを送り、コーディネーターとやりとりをしてコースを決めたが、大学についてから、時間割などの関係で受けられないコースが出てきたので、直接オフィスに行ってやりとりし、履修をやめたり、新たに履修したりしたコースがあった。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>語学面では、会話パートナーの制度、Language café、英語チュータリングなど、様々な取り組みがなされており、積極的に情報を収集して努力すれば、多くの学びが得られると思う。スウェーデン語の授業も、留学生向けの授業がある。</p> <p>勉学面、精神面では、特にカウンセリングなどの体制はなかった(利用しなかっただけかもしれない)。</p> <p>住居・生活面では、主に Housing Office とのやりとりだった。問題を報告しても、自分で解決するように言われることもあり、しっかりしたサポートが受けられるとは言えないかもしれない。</p> <p>全体として、サポートしてもらおうというより、自分で管理するという雰囲気があったように思う。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>留学生も多く、様々な国から来た人々と授業を受けたり、プライベートでもいい関係を機づけたることができる、国際交流の場としてはいい場所だと思う。</p> <p>自然の多い場所にキャンパスがあり、環境もいい。</p> <p>冬は寒いですが、それも貴重な経験。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人 たちへのアドバイス</p>	
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>居住許可</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>移民局</p>
<p>必要書類、手続き 方法</p>	<p>日本で、インターネットで手続きをする</p> <p>必要書類: 大学の入学許可証・受け入れ許可証 (letter of acceptance)、 留学中の生活維持を保障できるもの (銀行の残高証明、奨学金の証明) 留学中に保険に加入していることの証明 (保険加入証明) パスポートのコピー</p> <p>渡航後、移民局で写真撮影と署名</p>
<p>手続きに要した 時間</p>	<p>2, 3週間</p>
<p>その他必要な事 前手続き</p>	

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	寮生活だった。寮は、部屋は一人ずつあるが、キッチンが共同だった。最初はものがなく(シーツ、枕などは、ある部屋もあれば無い部屋もある)、IKEA などに買い物に行って生活用品をそろえた。 交通機関の表示などは全てスウェーデン語で、最初はとまどったが、スウェーデンの人は大抵英語が堪能なので、尋ねれば生活に支障はない。 日本食材が買えるスーパーもある。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	生活費計 8万 円/月 (生活費内訳)住居費: 4万 円、光熱水料: 円、通学費: 7000 円、食費: 2万 円、電話代: 円、インターネット代: 円、書籍代: 学期始めに 2万 円 その他:(具体的に)旅行 学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	変圧器不要 変換プラグはC型 PCは大学にあるが、日本語でタイプできないなど問題もあるので、持参すべき
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	治安はよく、英語も通じるので、あまり問題はありませんでした。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	カード社会なので、クレジットカードがあると便利。 現金は、友達との貸し借りや小さいお店、フリーマーケットなどに必要なことも。

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	Kungshamra1217: 21, 170 70, Solna	
費用(月額)	3300 SEK	
どのようにして見つけたか	留学先大学から手配してもらった。	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	推薦できる。寮によって共同キッチンがきれいか汚いかなど差があるが、大学に近く、同じように大学で学ぶ学生と交流できるという意味ではよい場所。	
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報		
5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント
・スウェーデン留学 SeJpStudy	http://sejstudy.wordpress.com/	
・ Stockholm University	http://www.su.se/english/	

--	--	--

6. その他の特記事項

--